

人権協総会

6月29日、玖珠地区人権教育・啓発推進協議会の総会が開催され、29年度事業計画等が承認されました。また総会終了後に、大分県人権問題講師の池部小枝子氏に、『人権学習は誰のため？』と題して講演を行いました。



講師の池部小枝子氏



34名が参加

環境保全の日

河川敷整備

ご協力ありがとうございます

いよいよでした

7月2日、玖珠川河川敷「やすらぎ河川公園」の草刈と花壇の花植えと、塚脇街区公園（くすふれあい公園）の草刈を行いました。



この活動は、コミュニティ生活環境部会が、玖珠町環境保全の日に合わせてこの時期に行っているもの

で、この日は自治委員・女性部など94名のボランティアの方によって作業が行われました。



のびきった雑草はすっきりと刈られ、花壇にはサルビアやマリーゴールド等の花苗500本を定植、これから夏に向けて散歩などで河川敷を訪れた方の目を楽しませてくれること



500本の定植

秋には花壇の花の植え替えを行う予定にしており、年間を通して河川敷美化活動に取り組んでいきます。



くすふれあい公園

早朝から多くのボランティアの皆さんがご協力をいただきました。

地域が育み、地域で育まれる

7月5日に玖珠地区青少年健全育成協議会の総会があり、平成29年度の事業計画および予算案が承認されました。（台風3号の影響により開始時刻の数時間前から強い集中豪雨がある状況の中、構成者60名中出席者29、委任者7で総会成立）
武石和正会長よりあいさつの中で、「子どもの数が少なくなっているいま、地域で子どもを見守り育てていくことがいっそう大切になっていく」と述べられました。

また来賓代表として廣澤町議より、「大人の姿が、子どもの姿に反映されるものであることから、大人は望ましい環境づくりに努め、人材を育てていかねばならない」とのあいさつがありました。
各学校（地区3校）からの情報交換では、
①学校における子どもたちの様子
②学校が目指して取り組んでいることの結果や課題
③家庭・地域（コミュニティ）との結びつきを深めていくこととの意義
など多くのことが紹介されました。

あいさつがよくなっていると、いうことを耳にします。うれしいことです。あいさつや声かけは、人びとの結びつきをつくり、深めたりすることになると言われます。夏の間には、お盆を前後に地域ではいろいろなふれあいの機会があると思われ、子ども達にもできるだけたくさん参加していただいて、将来につながる体験や結びつきが生まれることが望まれます。

【年間主要活動】

- ◇ 工作教室 12月
- ◇ 環境学習・野鳥観察会 1月
- ◇ 防犯パトロール
祇園、地蔵講、
定例月（9、10、4、5月）

